

南高図書館だより

2024 年 10 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『私は私のままで生きることにした』

キムスヒョン／著 吉川南／訳 ワニブックス

生きづらさや、周りの目を気にしすぎてしまう現代の私たちの心をころっと軽くしてしまう短編集です。「誰かに理解されるために生きているわけではない」「私たちに必要なのは、心配ではなく尊重」このたった一言で考え方がガラッと変わります。現代に生きる私たちが少しでも生きやすくさせてくれる 1 冊です。

『夜明けのすべて』

瀬尾まいこ／著 水鈴社

PMS(月経前症候群)の藤沢さんと、パニック障害の山添くんは、友達でも恋人でもないが、お互いの抱えているものを知っていくうちに同志のような気持ちが芽生え相手のことを救えるかもしれないと思うようになっていく。読み終えた後に気持ちが軽くなる、心優しい作品です。



『変身』

カフカ／著 高橋義孝／訳 新潮社(新潮文庫)

始まりは 1 人の男グレゴールが「ある朝、目を覚ますと 巨大な虫に変わっていた」という不可解な文から始まります。そこから家族からの容姿による差別化に苦しみながらも虫になった現実を受け止め、生きていくという小説です。グレゴールの運命はいかに…。

図書館からのお知らせ

◆さいたま市図書館コラボ企画◆

第7回おすすめ本の交換展示！ 浦和南高校⇄武蔵浦和図書館

高校生と図書館員が思いをこめて作った POP を交換するイベントです。



展示期間 令和6年 10 月 29 日(火)から 11 月 15 日(金)まで
※武蔵浦和図書館では 11/17(日)まで

展示場所

南高図書委員の POP → 武蔵浦和図書館に展示

武蔵浦和図書館員の POP → 南高図書館に展示

さいたま市図書館ホームページ※に今回のイベントについて掲載される予定です。

※URL: <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?13&pid=7322>
(10月22日現在、前回のイベント内容が掲載されています。)

第 4 弾

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【ヒエログリフ】 出典:『楽しいヒエログリフ入門』(クリスチャン・ジャック／著 草思社)

- 1, アヒル  が示す血族関係は？
A. 父、母 B. 息子、娘 C. 兄、弟
- 2, パピルスの茎  が表わす抽象的な概念は？
A. 幸せ B. 優しさ C. 広さ

選択肢のうち、どれが正解かわかりますか？

正解は次頁にあります➡



「図書館たほいや」キットあります。やってみたい人は4人以上のメンバーを集めて、図書館へ来てください。1 回遊ぶのに、20 分以上かかります。慣れていない場合は、昼休みより放課後のほうがゆっくり遊べてオススメです。

 知識の本

本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む 走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚
かまど、みくのしん／著 大和書房

生まれて一度も読書したことがない男が本を読むとどうなるのか。国語の授業で読むのは「読書」でなくて「お勉強」、本は長すぎて読めないという「みくのしん」。彼の人生初の読書は、太宰治「走れメロス」。声に出して、友人と楽しく話しながら読んでみる。ほか、有島武郎「一房の葡萄」、芥川龍之介「杜子春」、変な家の著者・雨穴の短編「本棚」も収録。『オモコロ』掲載を書籍化。

哲学の名著50冊が1冊でざっと学べる

岡本裕一郎／著 KADOKAWA

アリストテレス「形而上学」・デカルト「方法序説」・カント「純粋理性批判」…。古典の傑作から新たなベストセラーまで、哲学分野で名著とされる書物の要点をわかりやすく整理し、現代社会を生き抜くために役立つ“本物の教養”を提供する。哲学者 50 人の名著を、それぞれ 1 冊ずつ 5 頁前後で紹介。難解そうに思える哲学でも興味のあるところから読み進められます。

北朝鮮に出勤します 開城工業団地で働いた一年間

キムミンジュ／著 岡裕美／訳 新泉社

開城(ケソン)工業団地とは、北朝鮮南部の韓国との軍事境界線付近にある経済特別区に設置された、南北共同の大規模工業地帯。2015 年春から 2016 年 2 月に開城工業団地が操業停止されるまで、開城の食堂に勤務した韓国女性、北朝鮮で経験した約一年間の生活と北の人々の素顔を綴ったノンフィクション。

はじめてのガロア 数学が苦手でもわかる天才の発想

金重明／著 講談社(ブルーバックス)

数学の分野における年少の天才、ガロア。19 世紀前半のフランスで弱冠 17 歳のガロアが提出した論文は「革命」と呼ばれ、謎につつまれている決闘で負った腹部の銃創により 20 歳という若さで命を落としたものの、いまなおさまざまな場で存在感を示し続けている。この若き天才は何をしたのか。数学は嫌いだけどガロアには興味がある人へ向けて、数学嫌いの編集者が理解できるまで検証を重ねた、できるだけ数式を登場させず、縦書きで書かれた数学の本。

オオクワガタに人生を懸けた男たち

野澤亘伸／著 双葉社

自然界で見つけるのは極めて難しいオオクワガタ。天然個体との出会いを求めてやまないオオクワガタ採集家集団「インフィニティ・ブラック」のメンバーは、次の日に仕事があろうとも、真夜中に愛車を駆けて山へ行く。自然林へ分け入り、山へ登る。崖から落ちることもある。全ては少年のころあこがれたオオクワガタのため…。「インフィニティ・ブラック」と行動をともにし、その活動を追った著者によるノンフィクション。養老孟司とチームリーダーの対談も収録。

願いを込めて作りたいフェルトのお守り がんばる人に贈りたい手作りのお守り72アイテム
 プティック社

さまざまな願いを込めてフェルトのお守りを手作りしてみませんか。この本では、合格お守り、部活お守り、ペットお守り、和のラッキーモチーフなど、全72アイテムの作り方がくわしく解説されています。コピーして使える実物大の型紙つき。

小説・文学

夜と跳ぶ SHIBUYA STREET SKATER

額賀滯／著 PHP研究所

不祥事を起こし謹慎中のスポーツカメラマンの与野。ある夜、渋谷で東京オリンピック金メダリストの大和エイジと偶然出会う。パリ五輪を目指すつもりもなく、ストリートで自由に滑るだけのエイジに反発する与野だったが、その圧倒的な魅力に惹かれて彼専属のカメラマン、通称「filmer」になることを決める。最高のトリック(ジャンプなどの技)を求めるふたりだったが、渋谷で撮影を続けていくうちに、深夜に起こる連続窃盗事件や通り魔事件などに巻き込まれていく。

わたしの知る花

町田そのこ／著 中央公論新社

町で犯罪者と噂される老人が孤独死した。部屋に手ずから育てた花を残して。生前知り合っていた女子高生の安珠は彼の過去を知りたいと思い、調べ始める。老人のかつての恋人の女性、自身の性別があいまいで悩み自殺未遂を図った安珠の幼なじみの泰斗、安珠の祖母、様々な人と話し、その想いを知った安珠は、大事な人のことや生きていくことを考えるようになる。

檜垣澤家の炎上

永嶋恵美／著 新潮社(新潮文庫)

横浜の富豪一族、檜垣澤家。当主の妾だった母親を亡くしたかの子は、経営する会社も取り仕切る本妻と義理の姉、何かと張り合う姉の娘たちが住む本家へ引き取られる。屋敷内の殺人事件、政略結婚、軍との交渉、家族の秘密…。不穏な館でかの子が知る、檜垣澤家の真実とは。

👑 **ビブリオバトルを開催しました**

10月22日(火)放課後、1年次図書委員がビブリオバトルを行いました。

ビブリオバトルとは「知的書評合戦」ともいわれる、本の紹介ゲームです。
参加者(バトルー)が制限時間内に好きな本を紹介し、その後の投票で一番読みたいと思った人が多い本が「チャンプ本」となります。

今回は、4人前後の班に分かれて班ごとにお互い本の紹介を行いました。
その後、各班のチャンプ本が次のとおり決まりました。

『四疊半神話大系』森見登美彦／著 角川書店(角川文庫)

『同姓同名』下村敦史／著 幻冬舎(幻冬舎文庫)

『六人の嘘つきな大学生』浅倉秋成／著 KADOKAWA